

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成29年度)

【様式1】

施設名	特別史跡公園西都原古墳群
指定管理者	一般財団法人みやざき公園協会
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年間)
県所管部課	県土整備部 都市計画課

1 施設利用状況

指標	H29	H28	H27	増減理由等
特別史跡公園西都原古墳群 (単位:人)	31,999	33,660	29,501	西都原古墳群は、年平均で約3万2千人が訪れており、平成29年度は夏場のひまわりの植栽がなかったことから、前年度より減少しているが、例年並みの利用者数となっている。
コメント	花の開花状況により利用者が増減する傾向にあるが、関係団体と積極的に連携を図るとともに、利用者ニーズを捉えた管理運営を行っている。引き続き、利用者増加に繋がる幅広い事業の展開が期待される。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H29	H28	H27	支出	H29	H28	H27
指定管理料	25,956	25,745	25,959	人件費	9,592	11,197	12,306
自主事業等	10	22	36	需用費・役務費	6,735	5,586	5,971
				委託料・使用料等	4,917	4,521	3,247
				経費	4,292	4,283	4,318
				自主事業支出	62	111	89
合計(①)	25,966	25,767	25,995	合計(②)	25,598	25,698	25,931
収支差額(①-②)	368	69	64				
コメント	消耗品購入の際に協会全体で単価契約を締結し一括購入を行うことや、大型機械導入により作業効率を上げることで、費用の縮減を図っている。施設の収支状況は適正である。						

3 管理運営状況

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	園内清掃、駐車場清掃、トイレ清掃(午前と午後2回実施)
	保守・点検	浄化槽点検(月1回)、園内施設安全点検(年3回)、照明点検(月15回)
	警備	巡回パトロール、夜間巡回警備、異常気象時巡回
	修繕	西都原公園内漏水修理、D地区マンホール蓋補修
	備品等管理	-
	安全対策	労働災害防止対策会議(月1回)、宮崎市消防局講座(応急手当、救命処理)
	その他	植栽管理業務(樹木、芝、草地、花壇等)、施設維持管理業務(園路、トイレ、駐車場、バリアカー等)
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者アンケート調査、ガイドマップ作成・配布、ハザードマップの作成・配布、管理マニュアルの整備、職員研修(接遇)
	イベント等ソフト面充実	花の無料配布(5月、10月)、春の山野草を食べよう(4月)、博物館でminiマルシェ(4月)、父の日こそいいとこみせちやおう(中止)、このはな館ちびっ子祭り(中止)、西都原公園の梅を食べよう(6月、7月)、梅の実加工体験(7月)、西都市児童館竹で遊ぼう(8月)、昆虫観察会(中止)、星空観察会(中止)、ネイチャーゲームタヤけこやけでナイトハイム(12月)、秋の西都原を楽しもう秋のお茶会(10月)、神話をたどるウォーキング(2月)、親子ふれあい武道・文化交流会(2月)、親子で工作「巣箱を作ろう」(中止)、震災を忘れない(3月)
	施設設備等ハード面充実	A地区B地区防鳥ネット内清掃、トイレ小便秘修理
	その他	自主事業時のアンケート調査、西都原公園連絡会(月1回)
管理運営体制	職員技能研修、防災訓練(心配蘇生法及びAEDの使用について)、個人情報保護教育、管理運営委員会	
コメント	協定書等に基づき、法令遵守の上、適正な管理が図られるとともに、効果的なサービス改善の取組が数多く行われており、利用者満足度調査による評価も高い。適切な人員配置を行うことにより利用者の安全確保に努めていることなど、全般的に施設の管理運営は適切に行われている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	来園者アンケート調査、自主事業時のアンケート調査	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
苦情発生はなし。		

5 総合評価

評価コメント	「声かけ運動」「利用者声ノート」等による利用者ニーズの把握を行うことで、利用者に親しまれかつ快適な公園づくりに努めている。また、盗難防止やタバコ投げ捨て等について、パトロールの強化により確実に減少していることは、効果があったものと考えられる。更に、西都市観光協会、このはな館などの関係団体と積極的に連携し、公園利用者の増加に貢献している。全国的にみても重要な歴史遺産である当公園において、必要な管理運営体制のもと、適正な管理運営が行われている。
今後の課題と対応	特別史跡公園という管理地の特殊性により、活動内容に一定の制約を受けるが、工夫しながら公園の特徴を活かし周辺関係団体と連携したイベントの更なる提案が期待される。